

2020年9月2日

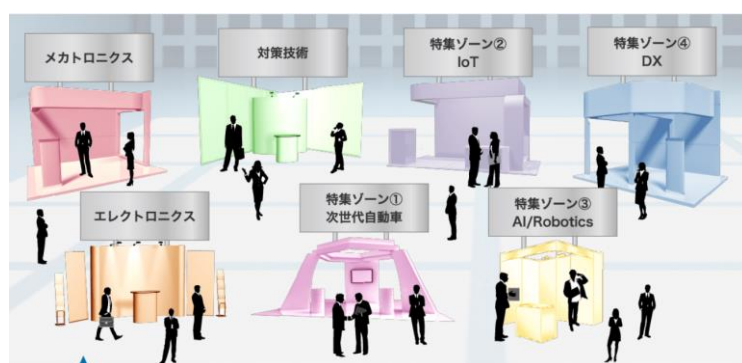
報道関係者各位

 一般社団法人日本能率協会  
 産業振興センター

メカトロニクス、エレクトロニクス、開発・設計 DX、ものづくり IoT など 112 社が出展  
 初開催「TECHNO-FRONTIER(テクノフロンティア)バーチャル展示会 2020」  
 — 2020年9月8日(火)～18日(金) オンラインで開催 —

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2020年9月8日（火）～18日（金）の11日間、製造業のエンジニアに向けて、開発促進と市場創出のためのメカトロニクス、エレクトロニクス専門展示会「TECHNO-FRONTIER バーチャル展示会 2020」をオンライン上で初開催します。

# TECHNO-FRONTIER バーチャル展示会 2020



TECHNO-FRONTIER は、モータ/電源/センサなどの要素技術をはじめ、製品設計に関する幅広い製品・技術の展示と、最新技術動向が学べるシンポジウムが同時開催されるショー&カンファレンスです。1983年の初開催以来、研究開発や設計に関わるエンジニアから多くの支持と高い評価を得てきました。

本企画は今年4月に新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、「TECHNO-FRONTIER2020」が中止となったことで失われてしまった商談機会を創出するために開催するはこびとなりました。要素技術メーカーを中心に112社が出展、開発・設計者など約3,000名の来場者を見込んでいます。現在、公式ホームページにて来場登録を受け付けています。（参加無料）。

来場者は期間中、場所、時間を問わずに本展に参加でき、バーチャルブースから出展各社の製品資料データを制限なくダウンロードできます。また、平日10時から17時の間は出展者セミナーのライブ配信受講や、一部の出展者へのオンライン問い合わせ、技術相談がリアルタイムにできます。出展者のうち10社のバーチャルブースは公式通販サイトが紐づいており、来場者は情報収集から直接購買までをワンストップで完結できるなど、オンラインの特性を活かした新たな商談と技術交流の場となっています。

オンラインの主催者講演プログラムでは、基調講演として2014年にノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学 天野 浩 氏（未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授）が「未来社会を見据えたイノベーション創出への取り組み」と題して講演します。

そのほか、コロナ禍によって喫緊の課題となっている製造業におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）やMaaSなどモビリティ市場の最新動向テーマに、全17セッションが聴講できます。全セッション聴講無料で公式ホームページより事前予約制です。

## 【 TECHNO-FRONTIER バーチャル展示会 2020 開催概要 】

- ・会 期：2020年9月8日（火）10：00～18日（金）17：00
- ・公式サイト：<https://jma-tf.com/virtual/>
- ・来場方法：<https://jma-webexhibition.com/visitors/regist> から事前登録をお願いします
- ・展示規模：112社（2020年9月1日現在）
- ・主 催：一般社団法人日本能率協会
- ・来場対象者：開発、設計、製造、研究等に携わる技術者ほか
- ・展示製品：モータ技術、モーション・エンジニアリング、メカトロニクス制御技術、センシング・画像解析技術、部品設計・加工技術、電源・パワーエレクトロニクス、バッテリー技術、電子部品用材料、EMC・ノイズ対策技術、熱設計・対策技術、CASE/ADAS、AI/Robotics Tech、開発・設計 DX、ものづくり IoT、IoT7 つ道具

## 【本イベントに関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター TECHNO-FRONTIER 事務局

担当：安松、飯田、海老原、國部、堀内 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL：03-3434-0587、FAX：03-3434-8076/E-mail：tf@jma.or.jp

## 【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 田部

TEL：03-3434-8620 E-mail：jmapr@jma.or.jp

## TECHNO-FRONTIER バーチャル展示会 2020 みどころ（一部抜粋・順不同）

### 【オンライン相談対応企業】（2020年8月28日現在）

旭化成エレクトロニクス/岩田製作所/インキュベーション・アライアンス/AA ポータブルパワー/KOA/ザワード/シーイーシー/JMAG/スタッフ/住友ベークライト/セールスワン/THK/東陽テクニカ/ブラザー販売/ヘッドスプリング/ポリテックジャパン/ミスミ/Luci

### 【公式通販サイト(チップワンストップ)連動企業】

ST マイクロエレクトロニクス/KOA/コスモテックス/タムラ製作所・ノベルクリスタルテクノロジー/テックロック・スマートソリューションズ/ニチコン/日本ケミコン/ヘッドスプリング/村田製作所/ローム  
(公式通販サイト 企画協力：チップワンストップ)

## 【主催者講演プログラム】

公式ホームページ (<https://jma-webexhibition.com/>より事前予約制/聴講無料)

※セミナーの予約前にバーチャル展示会への来場登録が必要です。(敬称略・法人の種類省略)

### 基調講演

『100年企業のイノベーション』

パナソニック 専務執行役員 CTO、CMO 宮部 義幸

松下幸之助 創業者は、1918年これからは電気が世の中を変えるという考えのもと当社を創業しました。以来100余年にわたり、パナソニックは人々へのお役立ちの発想から新製品をつくりそれを通して、人々の生活を豊かにしてきました。今社会は、物の豊かさとサービスの融合で人の心をも豊かにする超スマート社会へと急速に変化しています。本講演ではこの変化に挑戦するパナソニックのイノベーションについてお話いたします。(8日(火) 11:00～11:40)

### 『未来社会を見据えたイノベーション創出への取り組み』

名古屋大学 未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター  
センター長・教授 天野 浩（ノーベル物理学賞 受賞者）

半導体結晶製造法に関する研究シーズが生まれてから、大きな市場が創成されるまでに 30 年近い期間がかかった青色 LED や深紫外線 LED の研究開発の経験を反省材料として、未来社会に必要なイノベーションを 10 年以内で実現する人材育成を目的として行っている今までにない新しい 5 年一貫の大学院教育の例、および 2050 年の未来社会システムを志向した GaN コンソーシアムと世界唯一の GaN 専用クリーンルームを持つ未来エレクトロニクス集積研究センターの取り組みを紹介します。（8 日（火）13：20～14：00）

## テーマ：製造業の DX（デジタルトランスフォーメーション）

### 『アフターコロナに向けて GPU に投資 製造現場での変革を加速させる』

エヌビディア オートノマス マシン事業部 マネージャー 梅本 将範

既に製造業においては、デザイン、シミュレーションや AI に至るまで、様々な用途において GPU が使われておりますが、アフターコロナ/ウィズコロナの環境では、製造業においても働き方も含めて現場の変革がより一層求められており、GPU によって加速されたコンピューティングの活用が増えてきております。本講演では、製造業における GPU の活用事例とともに、最新の GPU 製品やツールを紹介いたします。（11 日（金）13：20～14：00）

## テーマ：モビリティ

### 『モビリティ・イノベーション ～自動運転と MaaS～』

東京大学 生産技術研究所 教授 須田 義大

自動運転、コネクティビティ、シェア・サービス、電動化という自動車における新たな潮流に加えて、MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)として、公共交通を含めた、モビリティ社会を構成するあらゆる産業の融合を目指したエコシステムの構築によるイノベーションが進行している。新型コロナウイルス感染症の問題によりモビリティ社会の在り方も再検討が求められているが、自動運転と MaaS の役割は益々重要になると考えられる。技術的課題解決、社会受容性の醸成、制度整備など、最近の動向を紹介する。（16 日（水）13：20～14：00）

### 『激変する自動車及びモビリティ市場と事業開発・技術開発のあり方』

インテル Government, Market and Trade ディレクタ  
名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授 野辺 継男

2045 年頃までに起こると予測されていた市場や技術の変化の多くが、COVID-19 によって一気に短期間に発現した。今後こうした変化は更に加速し、事業環境は毎年の様になるものとして物事を捉える必要がある。その背景と国内ではあまり見えていない世界の潮流、今後の予測、そしてその自動車・モビリティ分野での対処法に関してお話させていただきます。（18 日（金）11：00～11：40）

## テーマ：要素技術の最新動向

### 『レアアース磁石の資源の状況と問題点・ボトルネック

～一般には常識とされているデマや誤解を解説～』

東京大学 副学長 教授 生産技術研究所 持続型エネルギー・材料統合研究センター  
センター長 岡部 徹

電子機器には多くのレアメタルが使われており、私たちは多種多様のレアメタルに囲まれて生活している。社会が発展すればするほど、多量のレアメタルが必要となる。しかし一方で、レアメタルの採掘や製造に伴い、海外では環境破壊が進んでいる。本講演では、レアメタルの現状と課題について概説し、レアメタルに対する誤解や偏見、さらには、日本では知ることが出来ない“裏の問題”についても紹介する。(9日(水) 13:20~14:00)